

2025 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ニ ー ズ ウ ェ ル  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 岡 元  
(コード番号: 3992 東証プライム市場)

### 第 39 期定時株主総会 質疑応答要旨の公開のお知らせ

株式会社ニーズウェル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松岡 元)は、2025 年 12 月 23 日(火)に開催した第 39 期定時株主総会の質疑応答について、要旨を公開いたします。

#### 記

#### 1. 第 39 期定時株主総会 質疑応答について

第 39 期定時株主総会にて頂戴したご質問は以下の通りです。当日ご参加くださった株主の皆さまからご質問を多くいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

質問 1: 「第 1 号議案 剰余金処分の件」について、利益を配当金に割り当てていただけるのは大変ありがたいと思っておりますが、拠点や要員といった投資に十分な資金を確保できているのでしょうか。今後の展開について教えてください。

質問 2: 株主優待制度の導入により追加の費用が発生し、利益に負担がかかっていると理解しています。費用対効果は出ているのか、また株主優待制度の条件変更などは検討されているのか教えてください。

質問 3: 大株主である株式会社オーディーシーとの関係性を教えてください。

質問 4: 決算資料自動生成ソリューション FSGen に大変注目しておりました。現状の受注状況や進捗、売上への寄与、お客様からの反響などについて教えてください。

質問 5: 生成 AI が非常に話題になっていますが、ニーズウェルのようなシステムインテグレータ企業においては仕事が奪われてしまうなど事業への影響やリスクもあるのではないのでしょうか。

#### 2. 株式会社ニーズウェルについて

ニーズウェルは、「Try & Innovation」を合言葉に、主力の金融の他、通信、流通、サービス等、幅広い分野のシステム開発を手掛ける独立系のシステムインテグレータです。AI や RPA の活用で企業の DX をアシストするさまざまなソリューションも提供しています。

社名	株式会社ニーズウェル		
本社所在地	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 13 階		
代表者	代表取締役社長 松岡 元	設立	1986 年 10 月
社員数(連結):	597 名 (2025 年 9 月 末日)	資本金	9 億 8 百万円 (2025 年 9 月 末日)
事業内容	ソフトウェアの開発・運用・保守、ソリューション製品の開発・販売・運用・保守		
お問い合わせ	経営企画部 TEL:050-5357-8346(直)	E-mail: <a href="mailto:ir-contact@needswell.com">ir-contact@needswell.com</a>	
報道関係資料	IR ニュース	<a href="https://www.needswell.com/ir/news">https://www.needswell.com/ir/news</a>	
	その他のお知らせ	<a href="https://www.needswell.com/news/index">https://www.needswell.com/news/index</a>	

以上

## 第 39 期(2025 年 9 月期)定時株主総会 質疑応答

【日 時】 2025 年 12 月 23 日(火) 10:00~11:00

【場 所】 東京都新宿区

【内 容】 ・議決権数報告(記載省略)  
・監査報告(記載省略)  
・業績・成長戦略(記載省略)  
・**質疑応答**  
・事業報告(記載省略)  
・連結計算書類報告(記載省略)  
・計算書類報告(記載省略)  
・決議事項(記載省略)

※全ての議案についてご承認いただきました。議案の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

### 質疑応答

**質問1:**「第1号議案 剰余金処分の件」について、利益を配当金に割り当てていただけるのは大変ありがたいと思っておりますが、拠点や要員といった投資に十分な資金を確保できているのでしょうか。今後の展開について教えてください。

**代表取締役社長 松岡:**中期経営計画では2027年の社員数目標を700名としています。直近数年は新卒採用、若手の育成に注力してきました。今後は改めてキャリア採用も強化しています。当社は、6年前に長崎開発センターを立ち上げていますが、現在50名程度の規模ですので100名体制を目指し採用活動を行ってまいります。また、コアパートナー企業様や業務提携企業を増やすことで開発力を上げていく対策をとっています。しっかりと予算を確認し利益を見据えた上で、採用への投資も行っています。

**質問2:**株主優待制度の導入により追加の費用が発生し、利益に負担がかかっていると理解しています。費用対効果は出ているのか、また株主優待制度の条件変更などは検討されているのか教えてください。

**代表取締役社長 松岡:**株主優待制度はより多くの株主様に当社を知ってもらうひとつのきっかけとして有効であると判断し、第39期(2025年9月期)に導入いたしました。おかげさまで多くの株主様から反響をいただき企業価値、そして株価の向上に繋がりました。今後の株主優待制度継続につきましては、業績や市況状況により取締役会で判断してまいります。

**質問3:**大株主である株式会社オーディーシーとの関係性を教えてください。

**代表取締役社長 松岡:**株式会社オーディーシーは、当社の創業者の近親者が出資する資産管理会社です。定期的にコミュニケーションをとらせていただいております。関係性は良好であると考えます。

**質問4:**決算資料自動生成ソリューション FSGen に大変注目しておりました。現状の受注状況や進捗、売上への寄与、お客様からの反響などについて教えてください。

**代表取締役社長 松岡:**FSGen は、2024 年に開発・リリースし、多く反響をいただきました。当社独自のセミナーを数回開催し、参加率も非常に高く、実際にトライアルという形で動かしていただいたお客様が数社ございました。

その中で、お客様が意図した結果を高い精度で得ることが難しいなど、生成 AI 活用することによる課題がいくつか明らかになりました。

また、セキュリティには十分配慮しているものの、お客様の不安を解消するためにも生成 AI を利用する環境について検討、改善の余地があると考えております。

生成AIソリューションについては、まだまだこれから本格的な展開が期待できると考えております。

**質問5:**生成 AI が非常に話題になっていますが、ニーズウェルのようなシステムインテグレータ企業においては仕事が奪われてしまうなど事業への影響やリスクもあるのではないのでしょうか。

**代表取締役社長 松岡:**生成 AI は直近 1-2 年でかなり世の中に浸透しました。私自身も実際に生成 AI を使用することがありますが、サンプルのプログラムであれば簡単に自動生成できるので非常に便利であると考えます。

一方で、システムを構築する上での設計や仕様検討においては、生成 AI では困難な面が多数ございます。生成 AI がプログラムを作成したとしても、それを評価するエンジニアは必ず必要です。生成 AI の普及によってシステム開発の幅はもちろん広がりますが、直近でエンジニアの削減が発生することは想定しておりません。

当社としては、生成 AI を適切に活用できるエンジニアを育成し、生成 AI を活用した業務改善のご提案を推進し、事業展開してまいります。

以上